

## 貧困家庭の子ども・青少年対策について

### 1 国の動き

- ・ 子どもの貧困対策の推進に関する法律の施行（平成 26 年 1 月）
- ・ 子供の貧困対策に関する大綱の策定（平成 26 年 8 月）

(資料 5－参考 1 参照)

(子どもの貧困率)

相対的貧困（※）の状態にある 18 歳未満の子どもの割合（国全体）

16.3%（6 人に 1 人）（厚生労働省「国民生活基礎調査」（平成 24 年の数値））

※ 所得が貧困線（税、社会保険料等を除く可処分所得を低い順に並べた場合の中央値の 50%の所得を下回る所得しかない状態）

### 2 本市の取組

#### (1) これまでの取組

- ・ 本市では、これまでから、福祉や学校教育といった現場をはじめ、「子育て支援ニーズ調査」等により、子どもの生活に関する実態を把握し、施策を充実させてきた。(資料 5－参考 2 参照)
- ・ 平成 27 年 1 月には、本市における子育て支援施策の総合計画である「京都市未来こどもはぐくみプラン」(以下「はぐくみプラン」という。)を策定し、その中で、子どもの成長段階に応じた、切れ目のない、きめ細かな取組をはじめ、支援を必要とする子どもやひとり親家庭等に対する施策を掲げ、取組を進めている。

#### (2) 貧困家庭の子ども・青少年対策プロジェクトチームの設置

- ・ 一人ひとりの子どもの将来が、その生まれ育った環境によって左右されることのないよう健やかな学び・育ちを保障していくことは、今日きわめて重要な課題となっている。
- ・ こうした認識の下、この問題に真正面から取り組むため、平成 28 年 4 月 1 日付けで「貧困家庭の子ども・青少年対策プロジェクトチーム」を設置した。

#### (3) 貧困家庭の子ども等に係る実態調査及び実施計画の策定

- ・ 子どもが置かれている状態や家庭の「子育て力」の実態を的確かつ正確に把握し、貧困家庭の子ども等の課題を浮かび上がらせるための実態調査を行う。(資料 5－1, 2, 3, 4 参照)
- ・ 「はぐくみプラン」に掲載されている施策も含め、改めて「子どもの貧困」の観点から必要な施策を洗い出し、子どもの貧困対策という切り口で、具体的な支援策等を記載した実施計画を策定する。

## 貧困家庭の子ども等に係る実態把握について

貧困家庭の子ども等に係る実態を把握するため、次のとおり、アンケートによる実態調査や、関係団体・施設等ヒアリングを行う。

### 1 実態把握の概要 (別添2参照)

貧困家庭の子ども等の実態について、よりきめ細かな把握を行い、貧困家庭が抱える課題を浮かび上がらせるため、以下の取組により、実態把握を行う。

#### (1) アンケートによる実態調査

##### ア 無作為抽出による市民アンケート調査（京都市子どもの生活状況等に関する調査）

貧困状態にある家庭だけでなく、貧困状態にない家庭も含めて市民アンケート調査を行い、家庭の経済状況と子どもの生活習慣等との相関関係を把握する。

##### (ア) 調査件数

18,000件

就学前児童（0～5歳）：6,000件

小学生（6～11歳）：6,000件

中高生等（12～17歳）：6,000件

##### (イ) 調査方法

住民基本台帳から無作為抽出し、調査票を郵送

##### (ウ) 調査票 (別添3参照)

各家庭の経済状況のほか、生活の状況、教育の状況、家族や地域との関わりなど、家庭の「子育て力」の実態や貧困の背景を把握するための質問項目を設定し、原則として、子どもの保護者に回答していただく。

##### イ 本市の支援施策の対象者に対するアンケート調査

「無作為抽出による市民アンケート調査」とは別に、支援を要する子どもや家庭の実態をより多く把握するため、本市の支援施策の対象者に対するアンケート調査を実施する。

##### (ア) 対象

①子どものいる生活保護受給世帯、②児童扶養手当受給世帯

##### (イ) 調査件数

①②それぞれ300件ずつ抽出し、合計600件について実施

就学前児童（0～5歳）：100件

小学生（6～11歳）：100件

中高生等（12～17歳）：100件

(ウ) 調査方法

抽出した世帯に調査票を郵送

(エ) 調査項目

「無作為抽出による市民アンケート調査票」と比較できるよう、当該調査票から項目を絞り込んだ設問により実施する。

**(2) 関係団体・施設等ヒアリング**

貧困の状況にある子ども等の家庭の様子などをより詳細に把握するため、関係団体や施設等に対し、ヒアリングを実施する。

**ア 関係団体等ヒアリング**

(ア) 対象

子育て支援、教育関連の各関係団体、子どもや青少年への支援に関わるNPO法人等

(イ) 調査内容 (別添4参照)

関係団体等が把握されている保護者・子どもの状況や、実施されている支援の概要、必要な支援施策等について、ヒアリングを行う。

**イ 施設等ヒアリング**

(ア) 対象

保育園(所)、幼稚園、学校、児童館、児童養護施設、母子生活支援施設等の施設や、福祉事務所、保健センターに対して実施する。

(イ) 調査内容

関係団体等ヒアリングと同様の内容を調査する。

施設等	ヒアリングの実施方法	調査票(記述式)の送付
保育園(所)、認定子ども園、幼稚園、学校、児童館	施設の所在地に偏りが出ないように、行政区などの単位ごとに1か所程度選定する。(※)	別途、全施設に対し、調査票(記述式)を送付する。
児童養護施設、母子生活支援施設	施設種別毎に約1~2か所ずつ選定する。(※)	
福祉事務所、保健センター	拡大プロジェクトチームとして、現場の実務者を集め、意見交換を行う。併せて、数か所の事務所において聴取りを行う。	

※ 関係団体と協議したうえで選定するが、選定した施設は公表しない。

**(3) 関係局が把握しているデータの集約と分析**

関係局等が、各々の分野における支援策を行う中で把握してきたデータについて、収集・分析を行う。

## 2 今後の進め方

- 8月上旬  
市民アンケート調査票送付
- 8月頃  
関係団体・施設等へのヒアリング実施
- 8月上旬～下旬  
市民アンケート調査票の回収
- 11月頃  
調査結果の公表

## 貧困家庭の子ども等に係る実態把握の全体像

貧困家庭の子ども等の実態については、これまでから各施策の実施等を通じて把握してきたが、よきめ細かな把握を行い、貧困家庭が抱える課題を浮かび上がらせるため、以下の取組により、実態把握を行う。

項目	概要	手法
<p>1 アンケートによる実態調査</p> <p>(1) 無作為抽出による市民アンケート調査</p> <p>(2) 本市の支援施策の対象者に対するアンケート調査</p>	<p>貧困状態にある家庭だけでなく、貧困状態にない家庭も含めて市民アンケート調査を行い、家庭の経済状況と子どもたちの生活習慣等との相関関係を把握</p> <p>貧困状態にある家庭のアンケート回収率が低くなること懸念されるなど、無作為抽出による市民アンケートのみでは、貧困家庭の子ども等の実態や、今後必要な施策を十分に把握できない可能性</p> <p>⇒ 支援を要する度合いの高い子どもや家庭について、その実態をより多く把握するため、本市の支援施策の対象者に対するアンケート調査を実施</p>	<p>&lt;対象&gt; 0～17歳(平成28年4月1日時点)の子どもがいる家庭                  &lt;調査件数&gt; 18,000件(無作為抽出)                  0～5歳6,000件, 6～11歳6,000件, 12～17歳6,000件                  &lt;回答方法&gt; 選択式                  &lt;回答者&gt; 保護者</p> <p>&lt;対象&gt; 生活保護受給世帯, 児童扶養手当受給世帯                  &lt;回答方法&gt; 選択式                  &lt;回答者&gt; 保護者                  ※ 無作為抽出による市民アンケート調査との比較により、実態や課題を把握する。(設問数は絞り込み)</p>
<p>2 関係団体・施設等ヒアリング</p>	<p>貧困の状況にある子ども等々の家庭の様子など、よりきめ細かく把握するため、実態調査と併せて、NPO法人などの関係団体や、保育園(所)、幼稚園、学校、児童館、児童養護施設、母子生活支援施設などの施設等に対し、ヒアリングを実施する。</p> <p>【関係団体等ヒアリング】                  ⇒ 市域全体の視点から貧困家庭の実態や今後必要な施策等について聴取                  【施設等ヒアリング】                  ⇒ 地域の実情を踏まえた貧困家庭の実態や今後必要な施策等について聴取</p>	<p>&lt;対象&gt;                  関係団体：子育て支援、教育関連の各関係団体、子どもや青少年への支援に関わるNPO法人等                  施設等：保育園(所)、幼稚園、学校、児童館、児童養護施設、母子生活支援施設、福祉事務所、保健センター                  &lt;回答方法&gt; 記述式及び聴取                  ※ 施設等を対象とした質問票調査(記述式)も実施する。</p>
<p>3 関係局が把握しているデータの集約と分析</p>	<p>データを集約して分析を行う。</p>	<p>関係局等が各々の分野における支援策を行う中で把握してきたデータの収集を行う。</p>

## 京都市子どもの生活状況等に関する調査（市民アンケート調査）項目の概要

調査項目	備考								
<b>1 家庭の基本的な状況</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 回答者（子どもからみた保護者の続柄）</li> <li>・ 居住の行政区等</li> <li>・ 世帯員の構成，子どもの人数</li> <li>・ ひとり親世帯の該当有無</li> <li>・ 保護者の年齢・学歴</li> <li>・ 保護者の障害等の有無，健康状態</li> <li>・ 住居の状況</li> <li>・ 子どもの生年月・性別</li> </ul>	子育てを行っている家庭の基本的な状況を把握する。								
<b>2 生活状況等</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td data-bbox="300 846 1094 1227"> <b>（1）子どもの教育等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園，保育施設等の利用状況（未就学児のみ）</li> <li>・ 障害等の有無，健康状態</li> <li>・ 学校教育機関等の在籍状況（小学生以上のみ）</li> <li>・ 学校等での成績の状況（小学生以上のみ）</li> <li>・ 登校の状況（小学生以上のみ）</li> <li>・ 学習塾や習い事の利用状況</li> <li>・ 各種支援策の利用状況</li> </ul> </td> <td data-bbox="1094 801 1386 1964" rowspan="5">           「1 家庭の基本的な状況」，「3 保護者の就労状況」，「4 経済状況」で把握した状況が，「子どもの教育」や「生活環境，生活習慣」「家族との関わり」「地域等との関係」に与える影響を把握する。         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="300 1227 1094 1272"> <b>（2）子どもの生活環境，生活習慣</b> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 1272 1094 1413"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ むし歯の有無，未治療の理由</li> <li>・ 起床・就寝時間</li> <li>・ 朝食・夕食の状況，料理・外食等の状況</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 1413 1094 1554"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレビやスマートフォン等の所有及び使用時間</li> <li>・ 放課後又は長期休業中の子どもの過ごし方（小学生以上のみ）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 1554 1094 1695"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化芸術活動や自然体験等の機会（小学生以上のみ）</li> <li>・ 読書の状況</li> <li>・ 子どもの自己肯定感（小学生以上のみ）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="300 1695 1094 1740"> <b>（3）家族との関わり</b> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 1740 1094 1964"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもと遊ぶ機会等の頻度</li> <li>・ 保護者が子どもに勉強を教える機会の有無（小学生以上のみ）</li> <li>・ 保護者として，子どもに望む最終的な学歴</li> <li>・ 子育てにかかる時間等の優先度</li> </ul> </td> </tr> </table>	<b>（1）子どもの教育等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園，保育施設等の利用状況（未就学児のみ）</li> <li>・ 障害等の有無，健康状態</li> <li>・ 学校教育機関等の在籍状況（小学生以上のみ）</li> <li>・ 学校等での成績の状況（小学生以上のみ）</li> <li>・ 登校の状況（小学生以上のみ）</li> <li>・ 学習塾や習い事の利用状況</li> <li>・ 各種支援策の利用状況</li> </ul>	「1 家庭の基本的な状況」，「3 保護者の就労状況」，「4 経済状況」で把握した状況が，「子どもの教育」や「生活環境，生活習慣」「家族との関わり」「地域等との関係」に与える影響を把握する。	<b>（2）子どもの生活環境，生活習慣</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ むし歯の有無，未治療の理由</li> <li>・ 起床・就寝時間</li> <li>・ 朝食・夕食の状況，料理・外食等の状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレビやスマートフォン等の所有及び使用時間</li> <li>・ 放課後又は長期休業中の子どもの過ごし方（小学生以上のみ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化芸術活動や自然体験等の機会（小学生以上のみ）</li> <li>・ 読書の状況</li> <li>・ 子どもの自己肯定感（小学生以上のみ）</li> </ul>	<b>（3）家族との関わり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもと遊ぶ機会等の頻度</li> <li>・ 保護者が子どもに勉強を教える機会の有無（小学生以上のみ）</li> <li>・ 保護者として，子どもに望む最終的な学歴</li> <li>・ 子育てにかかる時間等の優先度</li> </ul>	
<b>（1）子どもの教育等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園，保育施設等の利用状況（未就学児のみ）</li> <li>・ 障害等の有無，健康状態</li> <li>・ 学校教育機関等の在籍状況（小学生以上のみ）</li> <li>・ 学校等での成績の状況（小学生以上のみ）</li> <li>・ 登校の状況（小学生以上のみ）</li> <li>・ 学習塾や習い事の利用状況</li> <li>・ 各種支援策の利用状況</li> </ul>	「1 家庭の基本的な状況」，「3 保護者の就労状況」，「4 経済状況」で把握した状況が，「子どもの教育」や「生活環境，生活習慣」「家族との関わり」「地域等との関係」に与える影響を把握する。								
<b>（2）子どもの生活環境，生活習慣</b>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ むし歯の有無，未治療の理由</li> <li>・ 起床・就寝時間</li> <li>・ 朝食・夕食の状況，料理・外食等の状況</li> </ul>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレビやスマートフォン等の所有及び使用時間</li> <li>・ 放課後又は長期休業中の子どもの過ごし方（小学生以上のみ）</li> </ul>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化芸術活動や自然体験等の機会（小学生以上のみ）</li> <li>・ 読書の状況</li> <li>・ 子どもの自己肯定感（小学生以上のみ）</li> </ul>									
<b>（3）家族との関わり</b>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもと遊ぶ機会等の頻度</li> <li>・ 保護者が子どもに勉強を教える機会の有無（小学生以上のみ）</li> <li>・ 保護者として，子どもに望む最終的な学歴</li> <li>・ 子育てにかかる時間等の優先度</li> </ul>									

	<p>(4) 地域等との関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談相手の有無, 望ましい相談相手</li> <li>・ 町内会への加入の有無, 未加入の理由</li> </ul>	
<p><b>3 保護者の就労状況</b></p>	<p>保護者の就業の有無  (就業している場合)  就業形態 (正規, 非正規など), 勤務時間, 出勤・  帰宅時間  (就業していない場合)  就業の意思, 働く意思があるが働いていない理由</p>	<p>子育てを行っている家庭の基本的な状況を把握する。</p>
<p><b>4 経済状況</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在の暮らしの実感</li> <li>・ 世帯の所得 (種別, 金額等)</li> <li>・ 各種料金未払い等の状況</li> </ul>	
<p><b>5 必要な支援策</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもについて悩んでいること</li> <li>・ 求めている子育て支援策</li> <li>・ 自由記述</li> </ul>	<p>保護者が, 子どもについて悩んでいることや, 求めている支援策について把握する。</p>

## 関係団体等ヒアリング調査項目（案）

## ＜共通事項＞

- 団体等の概要や活動内容
  - ・ 支援等の対象
  - ・ 活動の体制
  - ・ 活動範囲
  - ・ いつから実施しているか
  - ・ 支援等の内容
  
- 保護者について（特徴，課題など）
  - ・ 背景，抱える問題
  - ・ 生活習慣や日常生活，就労の様子（健康状態，食事の状況など）
  - ・ 子どもとの関わり方（保護者の視点から見たもの）
  - ・ 支援制度，支援者との関係
  
- 子どもについて（特徴，課題など）
  - ・ 背景，抱える問題
  - ・ 生活習慣や日常生活，就労（あれば）の様子（健康状態，食事の状況など）
  - ・ 保護者との関わり方（子どもの視点から見たもの）
  - ・ 学力，学習習慣，通学，進学状況など
  - ・ 性格，意識，将来の夢など
  - ・ 支援制度，支援者との関係
  
- 制度に関する意見，課題など
  - ・ 現在活用している制度や支援施策について
  - ・ 必要な支援施策や資源など，今後の支援のあり方に関する意見
  
- 行政や他組織との連携状況
  
- その他特記事項，貧困問題に関する意見など